

【目標の設定(案)】

資料2

目標分野	目標項目	【価値目標】(県の願い)		フェーズ	番号	【実現目標】	目標値(案)	
地域貢献	【教育】 地域に貢献する医療人の確保と質の向上	医師・看護師・保健師の県内定着	1	県内で質の高い医療を効率的に提供する体制を構築するため、医師を養成・確保	全般	1-1	○県内で臨床研修を行う県立医大卒業医の県内基幹病院における専攻医登録率の確保(※H30制度開始)	常に80%以上
			2	県内の看護師等学校養成所を卒業して県内で就業した者より、県外への流出者が上回っている中、地域医療体制を支える看護師を確保	全般	1-2	○地域の医療機関を支える地域枠入学者数の維持(ただし、医学科卒業生の県内卒後臨床研修病院への就職率が平成27年度～平成29年度の平均を下回った場合、又は緊急医師確保枠が減少した場合は、その補填として地域枠入学者数を増加)(H29:25人)	常に25人以上
			3	健康寿命日本一を目指す上で、保健指導の中心的役割を果たす保健師を確保	全般	2-1	○看護学科卒業生の県内就業率の向上(H25～H29実績平均 60.8%)	2024年度目標 65%
		医師の偏在・散在の解消	4	奈良県の医師数は全国平均を上回ったが、診療科では全国平均を下回る科もある(偏在)ことや、中規模病院が多く、病院当たりの医師数が少ないこと(散在)の是正が必要	全般	4-1	○県立医大医師派遣センター等を通じた地域の医療機関への配置医師数の増加(H27～H29配置実績平均 4人)	第3期期間計 56人
					全般	4-2	○医師が不足するへき地や診療科、診療分野に従事する医師数の増加	第3期期間計 105人
			看護師の質の向上	5	看護職員の役割が拡大する中、専門的な知識と技術に裏付けられた高い看護水準を担保するため、専門看護師や特定行為研修修了者等、高いスキルを持つ看護職員を養成。また、住み慣れた自宅での療養ニーズに対応するため、訪問看護師の質を向上	急性	5-1	○特定行為研修(急性期コース)を修了した看護師数の増加(H29(累計) 8人)
		急性				5-2	○専門看護師数の増加(H29～ 大学院修士課程にコース設置)	第3期期間計 3人
		慢性				5-3	○特定行為研修(在宅コース)を修了した看護師数の増加(H30新規設置)	第3期期間計 36人養成
		慢性				5-4	○訪問看護ステーションとの連携強化	定性的目標
	【研究】 県民の健康増進への貢献	地域に根ざし地域と歩む研究の推進	6	奈良県の医療・保健・福祉に関する諸課題を解決するため、県と連携して『実践的研究』に取り組み、その成果を県民に還元	慢性	6-1	○県民健康増進支援センターによる県・市町村・民間医療機関等への支援の新規件数(累計)の増加(H29 累計20件)	2024年度目標 累計50件
	【診療】 地域の医療機関との連携・機能分担の推進	県民を守る「最終ディフェンスライン」の実践	7	地域医療機関との適切な機能分担と緊密な連携を推進し、地域医療を支える	急性	7-1	○中南和地域における重症以上の傷病者搬送事案において医療機関に受入の照会を行った回数4回以上の割合の低下(H28(県全体) 6.2%)	2024年度目標 2.7%
					急性	7-2	○24時間365日ER型救急医療体制の確立	定性的目標
					急性	7-3	○救急隊からの受入照会に対する受入率の向上(H29 94.0%)	常に100%達成を目指す
					急性	7-4	○新生児の県内受入率及びハイリスク妊婦の県内受入率の向上(H29 新生児 99.2% ハイリスク妊婦 97.6%)	常に100%達成を目指す
		病病連携・病診連携の推進	8	奈良県基幹災害拠点病院として、奈良県民を守り地域の安心の確保に貢献	急性	8-1	○災害医療を支えるDMATチームの増加	2024年度目標 H30年値に比べて 2チーム増加
					全般	8-2	○他機関と連携した災害医療訓練の検討及び実施	定性的目標
			9	地域医療機関との適切な機能分担と緊密な連携を推進し、地域医療を支える	急性	9-1	○紹介率の維持・向上(H29 93.3%)	常に93%以上
					慢性	9-2	○逆紹介率の維持・向上(H29 81.3%)	常に82%以上
					慢性	9-3	○総合診療科における在宅医療部門の設立	定性的目標
全般					9-4	○近隣病院との新たな連携の構築	定性的目標	
各領域の担い手となる医療人の育成	10	質の高い医療を実践できる優秀な医師を確保し、県民が県内で高度な医療が受けられ、地域医療が充実する臨床研究支援体制の確立	慢性	9-5	○糖尿病医療に係る非専門医から専門医への紹介数の増加	常に対前年度より増加		
			慢性	9-6	○糖尿病専門医養成数の増加(H29まで 1人養成)	第3期期間計 6人養成		
				高度	10-1	○臨床研究中核病院の認定取得	定性的目標	

目標分野	目標項目	【価値目標】(県の願い)		フェーズ	番号	【実現目標】	目標値(案)	
教育	最高の医学と最善の医療を行う「良き医療人」の育成	11	知識・技能はもとより、豊かな人間性に基づいた高い倫理観と旺盛な科学的探究心を備え、患者・医療関係者、地域や海外の人々と暖かい心で積極的に交流する良き医療人の育成	高度	11-1	○高度医療における、患者の理解と自己選択を促すコミュニケーションを習得するための学習の充実	定性的目標	
				急性	11-2	○急性期医療における、患者の理解や受容を促すコミュニケーションを習得するための学習の充実	定性的目標	
				慢性	11-3	○慢性疾患における、患者に寄り添うコミュニケーションを習得するための学習の充実	定性的目標	
		12	臨床マインドの育成 臨床実習を強化し、患者安全に関する基本教育、医療者になる自覚の強化、参加型臨床実習への円滑な移行、を目指す	全般	12-1	○医師・看護師・保健師・助産師の現役卒業生の国家試験合格率の向上	常に ・医師:全国トップ10 ・看護師・保健師・助産師:100%	
				全般	12-2	○「良き医療人」の資質を持った受験生を増加させるための新たな広報活動の展開	定性的目標	
				全般	12-3	○「良き医療人」育成に係る教養・基礎・臨床・看護各分野におけるカリキュラムの最適化 ①CBT正答率の向上 (H29 75.2%) ②Post-CC OSCE平均点の向上 (H29 74点) ③看護技術項目到達度チェックリストの到達度平均の向上 (H29 平均84.8%)	2024年度目標 ①76% ②77点 ③平均90%	
				全般	12-4	○臨床実習における経験目標の達成度の向上	2024年度目標 各臨床科目の経験目標達成度70%	
				全般	12-5	○教養教育科目の見直し	定性的目標	
		教員の教育能力開発と教育全般に関する360度評価	13	魅力ある教育を実現するため、学生の参加を推進するとともに、教員の教育能力の向上を図る	全般	13-1	○アクティブ・ラーニングの推進 5つの手法の実施(反転授業、e-ラーニング、小グループ講義、形成的評価、臨床実習の360度評価)	定性的目標
					全般	13-2	○授業手法改善のためのワークショップ等の参加率の向上	2024年度目標 100%
	全般				13-3	○高度な教育・研究力を持った看護系教員養成のための看護学研究科の設置	定性的目標	
	全般				13-4	○授業が学びを促し、学習効果を高めるための工夫がされていたと思う学生の割合の向上(各科目単位) (※H30中に具体的指標設定)	常に 対前年度より割合を向上	
	学生への支援の推進	14	教員・学生間対話を拡大し、学生全体対話の他、個別面談やカウンセリング等の個別対話を拡大する	全般	14-1	○成績下位者に対する学習支援の実施	定性的目標	
	学習環境と教育環境の充実	15	豊かな知識と優れた技能、地域貢献の気概を持った国際水準の医療人を育成するために、学習環境と教育環境の改善に取り組む	全般	15-1	○新キャンパス先行整備分の竣工を目指す	平成36年度中	

目標分野	目標項目	【価値目標】(県の願い)		フェーズ	番号	【実現目標】	目標値(案)	
研究	最善の医療に貢献する最先端の研究の実施	最善の医療に貢献する最先端の研究の実施	16	最善の医療により奈良県民の健康増進を図るとともに、最先端の研究の実施により医学の進歩に貢献する。	全般	16-1	○PubMed対象の英文学術論文数の増加 (H25～H29累計 1,867件)	第3期期間計 2,400件
		横連携・他分野連携の推進	17	講座、領域単位の専門分野の研究に加え、枠組みを超えて連携した研究を推進する。	全般	17-1	○民間企業や他学部との共同研究件数(累計)の増加 (H29 累計155件)	2024年度目標 累計200件
		研究推進体制の適正化と強化	18	研究をより一層推進させるため、若手研究者や女性研究者の支援等の研究推進体制の強化を行う	全般	18-1	○研究推進体制の適正化と強化の推進 ①文部科学省科研費採択件数(新規+継続)の増加 (H29 208件) ②研究活動不正防止研修の受講者数(累計)の増加 (H29累計 984人)	2024年度目標 ①212件 ②累計1,700人
					全般	18-2	○若手研究者・女性研究者の支援 ①若手研究採択件数(新規+継続)の増加 (H29 - (※H30新規設置)) ②女性研究者数(医学科女性教員割合)の増加(H29 16.4%)	2024年度目標 ①50件 ②20%
診療	安全で安心できる最善の医療の提供	県内基幹病院としての機能の充実	19	県唯一の特定機能病院として、高度医療の機能充実を行う。	高度	19-1	○低侵襲手術、高精度放射線治療、精密治療としての薬物療法等を含めた質の高いがん治療実施比率の向上 (H29実績 51.4%)	2024年度目標 60%
			20	県中南部の拠点となる高度医療拠点病院としての役割を担うための診療、人材及び機能の充実	急性	20-1	○臨床指標(クリニカルインディケーター)の改善	2024年度目標 改善が必要と判断した臨床指標項目のうち、50%以上の項目を改善
					急性	20-2	○認定看護師数の増加 (H29 27人)	2024年度目標 H29より 15人増加
		急性			20-3	○教育・研究部門の移転後の新外来棟等附属病院整備計画の検討	定性的目標	
		患者満足の一層の向上	21	医療人のホスピタリティマインド醸成や患者の意見及び要望を適切に反映して、県民に満足してもらえるような病院運営を行う。	急性	21-1	○患者満足度調査において「非常に満足」「満足」と回答する割合の維持・向上 (H26～H29平均 入院92.4% 外来96.7%)	常に 90%以上
					急性	21-2	○患者満足度調査において診察の待ち時間について「不満」「やや不満」と回答する割合の維持・減少 (H29 29.3%)	常に 30%以下
					急性	21-3	○ホスピタリティマインド醸成研修受講者アンケートにおいて「業務に活用できる」「研修内容を理解できた」と回答する割合の向上 (H29 55%)	2024年度目標 65%
		安全な医療体制の確立	22	安全で透明性が高く、県民から信頼される医療を提供する。	全般	22-1	○患者安全対策提案数の増加	第3期期間計 18件

目標分野	目標項目	【価値目標】(県の願い)		フェーズ	番号	【実現目標】	目標値(案)	
法人運営	持続可能で安定的な法人運営	ガバナンス体制の確立	23	理事長の下、全教職員のコンプライアンスの徹底を図り、責任所在の明確化と合理性を徹底したガバナンス体制を構築する。	全般	23-1	○評価委員会の全体評価での好成績の維持 (H29:IV8項目)	定性的目標
					全般	23-2	○教育、研究、法人運営等の情報発信の推進	定性的目標
	医療費適正化の推進とそれを支える費用構造改革の徹底による持続可能な経営基盤の確立	24	公立医療機関として率先して医療費適正化を推進するとともに、教育・研究・診療を安定的に提供するための持続可能な経営基盤を確立する。	全般	24-1	○繰越欠損金の縮減 (H29 22.7億円)	2024年度目標 H29より縮減	
				全般	24-2	○未来への飛躍基金寄附実績の増加 (H29累計 3.7億円)	2024年度目標 累計10億円	
				全般	24-3	○院内処方の影響を除いた医薬収益に対する医薬品比率、診療材料費比率の維持 (H29:医薬品比率22.0%、診療材料比率13.9%) ※公立医科大学中最も低い	常に 公立医科大学最低を維持	
				全般	24-4	○院内処方の影響を除いた医薬収益に対する労務系委託費+給与費合計比率の改善(低下) (H29:51.45% 公立医科大学平均 50.54%)	常に 公立医科大学の平均以下	
				全般	24-5	○後発医薬品の使用割合(数量ベース)の向上 (H29実績 24.2%)	2024年度目標 80%	
	働き方改革の推進	25	「働いて良し」を実現するために、働き方改革を推進し、人を引きつける魅力ある職場づくりを進める。	全般	25-1	○教職員を対象とする「ワークライフバランスに関するアンケート」の項目における満足度の向上 (H27 35.7%)	常に 全教職員の満足度を 対前年度より改善	
				全般	25-2	○年次有給休暇取得日数の増加 (H29 医師 3.2日 看護師2.9日)	2024年度目標 7.5日	
				全般	25-2	○男性の育児休業取得率の増加	2024年度目標 13.0%	
				全般	25-3	○超過勤務の縮減	常に 職種別1人当たり超過勤務時間を対前年度より減少	
				全般	25-4	○女性医師数の増加 (H29 122人)	2024年度目標 140人	
				全般	25-5	○看護師の在職率の維持 (H29離職率 8.2%)	常に 全国平均離職率の△1%	
				全般	25-6	○復職支援カリキュラムの満足度の向上	2024年度目標 満足度50%	
	26	障害のある人もない人もともに暮らしやすい社会の実現を目指して、障害のある人が、自分の能力が発揮できる仕事に就くことができ、安心して働き続けることができる組織を目指す。	全般	26-1	○障害者雇用率の向上 (H29 2.44%)	2024年度目標 2.82%		